



並木中等story

令和3年10月11日号

表も裏も見る

Aという本に“Aはいいよ”と書いてあったので、Aは良いものと認識します。翌日、Bという本に“Bはいいよ”と書いてあったので、Bは良いものと認識しようと思いました。ところが、AとBは相反しているとしたら、皆さんはどう認識するでしょう。私たちは先生の話、TVやネット、新聞で報道されたものを見たり、読んだりするとそのまま信じてしまうことがあります。私もそのようなことが多々あります。しかし、全てのものは表裏一体、表があれば裏もある、表を取ると裏も無くなってしまいます。そこで、**表も裏も見る習慣が大切ということ**になります。



“Aはいいよ”と聞いた後で、“欠点はどこかな”と探すことも大事なんですね。

かつての私は、一度“よい”と判断するとそのもの全てが“よい”と認識していたところがあります。欠点が見えなくなっていたのです。後になって欠点を見つけ、不満を言い出すのです。恥ずかしいですね。**全てのものに長所短所、表裏があると思って判断することは大切なこと**なのです。

《祝！We Support UNICEF 賞を受賞》

本校国際教育部の有志団体が文化祭（かえで祭）において、フェアトレード等の商品を販売した収益金12,220円をユニセフ協会に寄付したところ、この賞をいただきました。本校には国際貢献に意識の高い生徒が多くいます。